

第19号

令和6年度 長崎市立長崎中学校 学校だより

勇 気

R7.1.28 発行
校長：種吉 信二

起業体験学習を開始します

2月から1、2年生は起業体験学習を行います。起業体験学習は予測困難な社会を生き抜く子供たちに必要な主体性、自制心、協働性、課題発見解決能力、チャレンジ精神、企画・運営力などを高めることをねらって実施するものです。

今年度末は、2月19日（水）に起業体験学習の概略をつかんでもらうために十八親和銀行の山下淳司さんと佐世保高専の山下立仁さんをお招きしてオリエンテーションを行います。次の週は身近な起業家の方に、起業の動機やおもしろさ、苦労などを聞く講話を計画しています。そして、3月4日（火）にはBizworld Japanの宮崎正志さんによる起業体験講座を行います。この講座ではアントレプレナーシップ（起業家精神）や会社設立のためのノウハウなどをグループで課題解決をしながら学びます。

新年度に入ると模擬株式会社を立ち上げるためのコンペティションや株主募集集会を開いて本格的な活動に入っていきます。起業体験学習を通して様々な資質能力を高めていく生徒の変化を感じていただければ幸いです。

「常識の革命」に思う

先日、アメリカではトランプ大統領の就任式が行われました。就任演説で選挙期間中に掲げた公約の実現を力強く唱え、その後、それらの公約を実現するための大統領令にも署名する様子が世界中に伝えられていました。

自らを「タリフマン（関税男）」と称し、今年8月以降、外国からアメリカ合衆国に輸入される製品に一律10～20%の関税をかけ、自国の産業を保護する政策を打ち出しています。このほかにも地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」からの離脱や世界保健機関（WHO）からの脱退など自国の経済優先の政策へと大きく舵を切る方針を打ち出しています。また、メキシコ湾をアメリカ湾に、グリーンランドやパナマをアメリカの領土にするということまで言及しています。どこまで本気で言っているかよくわかりませんが、楽

観視できないように感じます。というのもトランプ大統領が就任演説の中で「本日、私は一連の歴史的な大統領令に署名する。これにより、アメリカの完全な復興と常識の革命を始める。すべては常識の問題だ」と言っているからです。常識とは「普通、一般人が持ち、また、持っているべき知識。一般知識とともに理解力・判断力・思慮分別などを含む（広辞苑）」だそうです。今、世界には解決が難しい問題が山積しています。簡単にはいかないことばかりだと思いますが、一人一人が正確な情報を収集し、慎重に考え判断し、行動することが求められています。耳障りがよく勢いのある言葉に惑わされることがないようにしっかりと学ばなければならないと感じます。

生徒会役員を紹介します

少し遅くなりましたが、新しい生徒会役員を紹介します。長崎中をより良い学校にしようと気合が入っています。

【本部役員】（敬称略）

役 職	学 級	氏 名
会長	2年2組	
副会長	2年2組	
	1年1組	
書記	2年1組	
	1年2組	

【正・副専門委員長】（敬称略）

専門部	委員長	副委員長
総務部	(2-1)	(1-1)
学習部	(2-1)	(1-1)
生活部	(2-1)	(1-2)
保体部	(2-1)	(1-2)
文化部	(2-2)	(1-1)
厚生部	(2-1)	(1-1)

2月には新入生説明会や生徒総会、3月には3年生を送る会の実施が計画されています。生徒の主体性が発揮されることを期待します。

「がんばれ生徒会 負けるな生徒会

より良い長中を目指して 一歩前進！！」